

スキップ

No.31

2013年9月4日

J R 東海労働組合

秋の闘いシリーズ ②

職場で「1時間前出勤」等が「強要」されていませんか？

ユニオン若手組合員の皆さん！今年1月、「1時間前出勤」が出来なかった米原駅若手社員が、「出勤遅延未遂だ」と管理者に詰め寄られ、自らの命を絶つという痛ましい事象が発生しました。厚生省調査では2012年度で「心の病」になり労災と認められた人は475人でそのうち93人が自殺しています。会社は今も尚「遅刻」があれば若手社員に「アンケート」をとりそれをもとに「ディスカッション」を行っています。そのことによって、どんどん職場で「遅刻」した社員が精神的に追い詰められて「心の病」を持つ原因がどんどんつくられようとしています。

過去最多！

心の病で労災！10年で5倍！

最終的には本人の意志??

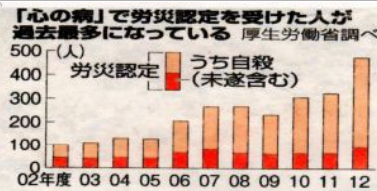
【組合申し入れ内容】

社員に対して「早め出勤」を求めている職場がある。

「1時間前出勤」等の懲罰をやめること。また、出勤遅延となっていない場合は事情聴取や、過度の反省を求めることをやめること。

【会社回答】

「個別の議論はしないが、定められた時刻に遅れないよう伝えることは、指導の範囲を超えていない。最終的にどの時間に出社するかは本人の意思である」としているが、遅刻する社員を悪者にするのが対策となっていない。



心の病で労災 10年で5倍

仕事の原因でうつ病などの「心の病」になり、労災を認められた人がここ10年で5倍近くに増えた。2012年度は475人、うち93人が自殺(未遂含む)でいずれも過去最多だった。

自治医科大学の精神科医、西倉昌し部(43)は「過重労働」や、従来と広がりも、背景にあるとみられる。呼吸になる症例が増えた。「追い出

皆さん、JR東海労HPを見ましょう！

J R 東海労

検索